

## 第 64 回関東ブロック民俗芸能大会の埼玉県開催について

令和 4年 11月 27日（日曜日）、ウェスタ川越 大ホール（川越市）にて、第 64 回関東ブロック民俗芸能大会を開催します。関東ブロック民俗芸能大会とは、関東・甲信越静の 11 都県で実施する大会で、埼玉県での開催は平成 23 年以來 11 年ぶりです。国指定重要無形民俗文化財「玉敷神社神楽」（加須市）や県指定無形民俗文化財「石原の獅子舞」（川越市）など、地域の特色あふれる 7 つの民俗芸能が出演します。

### ● 第 64 回関東ブロック民俗芸能大会

#### 1 大会の概要

(1) 主催者

埼玉県教育委員会、第 64 回関東ブロック民俗芸能大会実行委員会

(2) 補助

文化庁

(3) 開催日時

令和 4年 11月 27日（日曜日）12:30~17:00（予定） ※開場は 12:00

(4) 会場

ウェスタ川越 大ホール(埼玉県川越市新宿町 1-17-17)

(5) 入場料・申込方法

無料・事前申込み制（定員 610 名）（予定）

※詳細は、後日県HPなどでお知らせします。

第 64 回関東ブロック民俗芸能大会HP

[https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/64th\\_geinoutaikai.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/64th_geinoutaikai.html)

## 2 出演する民俗芸能・保存団体

### ■玉敷神社神楽（国指定重要無形民俗文化財・玉敷神社神楽保存会）〔加須市〕

2月1日、5月5日、7月15日、12月1日に玉敷神社神楽殿（加須市騎西）で公開されている神楽です。地域の人びとによって伝承され、現在は18の演目が伝えられています。ほとんどの演目に、舞台の北西隅から順に廻り四方を固めていく「四方固め」があり、演劇性の強い舞においても四方固めが行われるのが、玉敷神社神楽の特徴の一つです。今回は4演目を上演予定で、何柱もの神々が登場する「山めぐり」は約20年ぶりの公開となります。

関東ブロック民俗芸能大会への出演は、昭和40年の第6回大会（東京都・日本青年館）以来2回目です。



■石原の獅子舞（県指定無形民俗文化財・石原のささら獅子舞保存会）〔川越市〕

毎年4月に開催される観音寺（川越市石原町）の観音祭で披露される獅子舞で、「石原のささら獅子舞」とも呼ばれています。山伏役や天狗を先立ちとして、ほら貝の音とともに獅子が入場し、12切の演舞が始まります。獅子は、先獅子（雄獅子）・中獅子（雌獅子）・後獅子（雄獅子）の三頭立てで、ゆったりとした舞が終わると、雌獅子をめぐる2頭の雄獅子が激しく乱舞します。獅子とともに舞う山の神役や、ささらを奏でる4人のササラッコなど、子供たちのかわいらしい所作も見所です。

関東ブロック民俗芸能大会への出演は、昭和61年の第28回大会（群馬県・前橋市民会館）以来2回目です。



■このほか、茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・静岡県の民俗芸能が出演予定です。

[関東ブロック民俗芸能大会とは]

ブロック別民俗芸能大会は、昭和 34 年に、全国を 5 ブロックに分け、第 1 回大会が開催されました。民俗芸能を舞台で紹介する大会としては、大正 14 年から続く日本青年館の「全国民俗芸能大会」に次いで、長い歴史があります。

関東ブロックは、埼玉県のほか、東京都・神奈川県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県の 11 都県で構成され、毎年持ち回りで民俗芸能大会を実施してきました。出演した民俗芸能は、令和 3 年の第 63 回大会までで、延べ 470 にのぼります。

埼玉県での開催は、今回で 7 回目です。

開催年度	回	会場	埼玉県の出演芸能
昭和 43	第 10 回	埼玉会館	秩父屋台囃子（秩父市）
昭和 46	第 13 回	埼玉会館	上覧ばやし（川越市） 貴布祢神社神楽（吉田町 [現秩父市]）
昭和 52	第 19 回	埼玉会館	閨戸の式三番（蓮田市） 老袋の万作（川越市）
昭和 63	第 30 回	岩槻市福社会館 ホール	横瀬の人形芝居（横瀬町） 笹久保の古式土俵入り（岩槻市 [現さいたま市]）
平成 12	第 42 回	彩の国さいたま芸術劇場	下名栗の獅子舞（名栗村 [現飯能市]） 秩父屋台囃子（秩父市）
平成 23	第 53 回	彩の国さいたま芸術劇場	浦山の獅子舞（秩父市） 鷲宮催馬楽神楽（久喜市）
令和 4	第 64 回	ウェスタ川越	玉敷神社神楽（加須市） 石原の獅子舞（川越市）